

茶六本館と清輝楼 国登録有形文化財に

宮津の老舗旅館



茶六本館—宮津市魚屋



清輝楼—宮津市魚屋

宮津市教委は19日、宮津市内にある、いずれも老舗旅館の「茶六本館（魚屋）」と「清輝楼」（同）が、国登録有形文化財（建造物）の登録を受けたと発表した。

茶六本館は大正前期の建設で、昭和10年に増築。木造3階建てで、建築面積は約260平方メートル。1階部分の趣ある出格子などが特徴となっている。

一方、清輝楼は明治34年の建築で、大正13年に増築。木造1部3階建てで、建築面積は約680平方メートル。格子窓と白壁の外観が美しく、上質な大広間もある。

宮津市内の国登録文化財はこれで4件となり、府内の今回の新規登録建造物は6件で、累計では344件となる。

知事選 山田知事がマ
3選をめざして4月の知事選に立候補を表明している山田啓三知事（55）が19日、マニフェスト（選挙公約）を発表した。福祉安心社会の再構築や地域共生のまちづくりなど、大きく5つの目標を掲げている。

マニフェストのタイトルは「みんなの未来設計図しあわせ実感 希望の京都をつくる」。具体的には、福祉安心社会の再構築では、福祉・医療・介護を一体化した地域包括ケアの実現や地域格差のない医療保険の再構築、地域共生のまちづくりでは、地域力再生プロジェクトの推進や子育て支援医療制度の拡充など。

また、行財政改革を実施